

協働事業プロセス相互検証シート

1 事業計画段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

毎月の定例会や、共に事務局を担う連絡会の事務局会議を重ねる中で、事業の目的や方向性を確認・共有してきた。話し合いを重ねながら、お互いの役割分担も明確になり、協働で事業に取り組む事ができた。

【今後改善が必要と思われること】

具体的な年間計画については、次年度の計画立案の時期が区と拠点とでは数か月違うため、取組み課題について計画的に検討を行う必要がある。

2 事業実施段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

拠点の行う事業の方向性について共有できているので、拠点のよさでもある機動性の高いプログラム作りが問題なく展開できた。

【今後改善が必要と思われること】

定例会等の事業報告段階で、区から意見を得る事もあった。次の事業計画に生かせるよう拠点内での記録や振り返りを徹底していきたい。

3 事業の振り返り段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

区との協働事業として3期目を迎えている。拠点として様々な経緯を経て、その都度区と協議して取り組んできた。区の担当者が変わることでその経緯や拠点としての考えをその都度伝える必要があり、共通の認識を持つために時間を要することがある。

【今後改善が必要と思われること】

事業を進めるにあたり、拠点だけの動きでは及ばない事柄もある。具体的な取組み課題を共有し、拠点と区で協働した取り組みを行っていきたい。